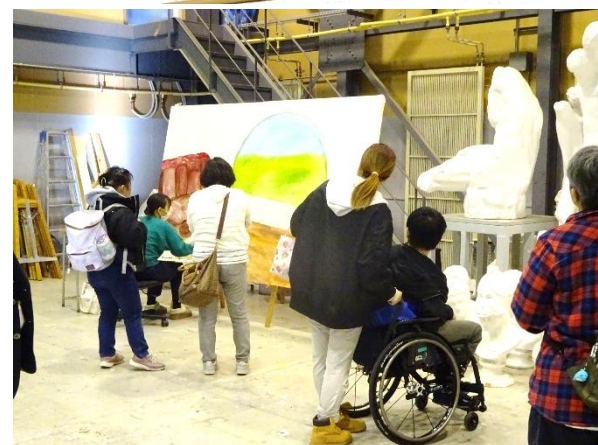


令和7年度

いわみざわ

アートアカデミー

成果報告書



主催 北海道岩見沢市

はじめに

岩見沢市では、北海道教育大学岩見沢校アートマネジメント美術研修室のご協力のもと、いわみざわアートアカデミーを開催しています。障がいのある人の学校卒業後の学びの場として、同研究室の大学生と一緒に、芸術鑑賞や創作等について学ぶ取組みです。

岩見沢市がこの取組みを始めて、今回で5回目になりました。受講生の中には毎年楽しみにしている方もおり、今年度も多くの受講生にご参加いただきました。

今年度は「うごき」をテーマに全3回の講座を実施しました。受講生は、様々な画法や作品鑑賞について学びを深め、意欲的に作品制作に取り組むとともに、同大学内にある「森の岩ギャラリー」で展覧会を開催しました。

また、今年度も北海道岩見沢高等養護学校に大学生を講師として派遣する「出前講座」を実施しました。学校在学中から卒業後の学びの場を知ってもらい、生涯学習に繋げることを目的としています。

さらに、今年度の新たな取組みとして、北海道高等学校文化連盟空知支部ボランティア研究大会において、高校生を対象としたミニ講座を実施しました。大学生の経験を次の世代に伝える貴重な機会となり、いわみざわアートアカデミーの学びをより広く届ける新しい一歩になりました。

芸術活動は、障がいの有無に関わらず誰もが自由に楽しめ、表現できるものです。岩見沢市では、今後も障がいのある人の学校卒業後の学びの場としていわみざわアートアカデミーの活動を継続していきたいと考えています。

この報告書が、障がいのある人の学びを活発にしていくなめの取組みの参考になれば幸いです。

最後に、いわみざわアートアカデミーの開催にご協力いただきましたみなさまに、心から感謝を申し上げます。

2026年3月 北海道岩見沢市



Contents

はじめに	1
実施概要	2
創作体験・創作学習会	3
芸術鑑賞学習会・出前講座	4
展示実践学習会	
新たな取組み	5
アンケート	6
資料集	11

いわみざわアートアカデミー実施概要

実施目的

学校卒業後における障がい者が、北海道教育大学岩見沢校の教員や学生と関わりを持ちながら、芸術の鑑賞、創作について学び、展覧会の企画にかかわることで自己実現を図る。
また、芸術を教わる側から教える側になることで、地域社会の中で役割を持ち、自尊心をもって自分らしく暮らせる社会の実現を目指す。

プログラム

○創作体験・創作学習会（会場：岩見沢市生涯学習センターいわなび）

様々な画材を使った創作体験会を開催し、画材や画法、創作技術について学びを深める。
障がいのある人とない人が一緒に作品を創作する環境を作ることにより、障がいへの理解を深める場とする。

○芸術鑑賞学習会（会場：北海道教育大学岩見沢校講義室 シアタールーム）

北海道教育大学岩見沢校の教員・学生の解説により、大学敷地内のギャラリーで行う美術展の作品を鑑賞する機会を持ち、作品に込められた思いや表現の工夫など、鑑賞する楽しさを感じてもらう場とする。

○展示実践学習会（会場：北海道教育大学岩見沢校敷地内 森の岩ギャラリー）

実際に参加者自らが制作した作品の展示についての企画運営に携わる。
展示ボランティアとして北海道教育大学岩見沢校の学生等にも参加してもらい、障がいのある人とない人が協働する場とする。

参加者数

アートアカデミー受講生 20名（定員20名）

出前講座参加者 6名

関係団体

北海道教育大学岩見沢校

北海道岩見沢高等養護学校

社会福祉法人ゆうゆう

（敬称略）

事務局：北海道岩見沢市健康福祉部福祉課



創作体験・創作学習会

創作体験・創作学習会では、講座毎に異なるテーマを設定し、受講者に毎回新しい発見があるように内容を工夫しました。

今年度は「うごき」をテーマに講座内容を組み立てました。水面に専用のインクを浮かべて模様を作り、そのまま画用紙に写しとる「マーブリング」や、クレヨンの上に絵の具を重ねて模様を浮かび上がらせる「はじき絵」など、新しい画法に積極的に取り組んだほか、アルミホイルを使った立体作品作りにも挑戦しました。

<第1回> 2025年10月8日（水）

うごきを写しとる

<第2回> 2025年10月15日（水）

うごきを固める

講師：北海道教育大学岩見沢校

アートマネジメント美術研究室

三橋純予教授、研究室の皆様（大学生）



講座の様子

学生と一緒に作品制作に取り組みました。



創作の場面では学生が各テーブルについて説明しながら、受講生が創作にチャレンジしやすいように関わりました。

講座の説明では、だれにでも分かりやすく伝えられるように、写真やイラストを活用した資料を用意し、解説しました。

受講生からは「学生から丁寧に教えてもらえた」「お話ししながら作るのが楽しかった」との声をいただきました。



講座で使ったスライド

写真を用いて相手にわかりやすい資料を作成しました。

芸術鑑賞学習会

北海道教育大学岩見沢校のシアタールームを会場に、鑑賞の講座を行いました。

全2回の創作体験・創作学習会で受講生が創作した作品をプロジェクターで写しながら、それぞれがどのような考えや思いで創作したのか、ほかの参加者の作品に対する感想等を発表し合いました。

北海道教育大学岩見沢校の校内見学では、大学生の普段の学びの場を巡り、大学生活の一端を感じることができました。また、敷地内にある「森の岩ギャラリー」で開催していた展覧会「夕張展」を観覧しました。学生から解説を受けながら芸術鑑賞の知識を深めていきました。



<第3回>

2025年10月29日（水）

うごきを伝えあう

出前講座

出前講座は、北海道岩見沢高等養護学校にご協力いただき、美術の時間に大学生を講師として派遣しています。

令和5年度からはじめての試みで、内容はアートアカデミーで取り扱う画法の中からセレクトして実施しています。

今回はマーブリングとはじき絵に取り組み、生徒ならではの自由な発想や大胆な色使いの作品が多く完成しました。

「こんな色を作るには何を混ぜたらよいのだろう」といった生徒からの質問に大学生が応えながら一緒に作品制作に取り組みました。

講座の最後には自分の作った作品を紹介し、絵に込めたポイントや工夫、頑張ったところなどを伝え合いました。

普段とは違う授業に、生徒たちからは「楽しかった」「またやりたい」と肯定的な意見をいただきました。



実施日：2025年10月29日（水）

北海道岩見沢高等養護学校 美術室



展示実践学習会



活動の集大成として、北海道教育大学岩見沢校敷地内にある「森の岩ギャラリー」にて、創作体験・創作学習会で制作した作品の展覧会を行いました。

設営・運営には学生が主体的に関り展示作業を行いました。今年度のテーマでもある「うごき」をどう表現するか、アイディアを出しあいながら、作品の見せ方を工夫し展示技術の習得を図りました。

また、創作活動の様子を知ってもらえるように、アカデミーの活動についてまとめたスライドショーを配信しました。

展覧会名

いわみざわアートアカデミー「OUR LIFE is OUR ART !」

会 期：2025年11月27日（木）～12月3日（水）

会 場：北海道教育大学岩見沢校「森の岩ギャラリー」

出展数等：50名 214作品

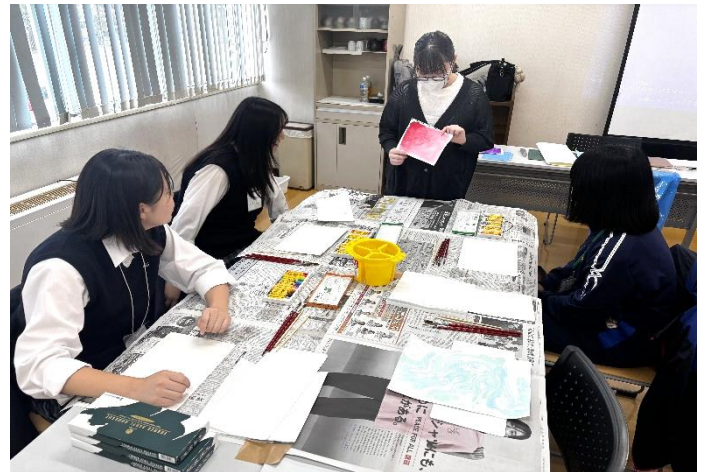
※受講生19名、出前講座5名、大学生等26名

新たな取組み

新たな取組みとして、北海道高等学校文化連盟空知支部ボランティア研究大会にお声がけいただき、高校生を対象にいわみざわアートアカデミーの取組みや大切にしていること、実際に得た気づきなどを紹介し、高校生と一緒に創作体験を行うミニ講座を実施しました。

声かけの工夫や相手のペースを尊重すること、小さな「できた」を一緒によろこぶ姿勢など、大学生がアートアカデミーで実感してきた関わり方を丁寧に伝えました。

今回の取組みは、大学生の経験を次の世代に伝える貴重な機会となり、いわみざわアートアカデミーの学びをより広く届ける新しい一歩になりました。



実施日：2025年7月29日（月）

講 師：北海道教育大学岩見沢校

アートマネジメント美術研究室

三橋純予教授、研究室の皆様（大学生）

対象者：高校生9名

いわみざわ アートアカデミー

アンケート

受講生アンケート

●年齢

10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	計
0	1	13	7	7	3	0	31

●アートアカデミーを何で知りましたか。

チラシ	メール	新聞	HP	友人知人	その他	無回答
13	0	1	2	3	16	0

●アートアカデミーに参加してどのように感じましたか。

	良かった				悪かった
第1回	10	1	0	0	0
第2回	9	2	0	0	0
第3回	9	0	1	0	0

●アートアカデミーに参加してどのように感じましたか。（自由記載 ※原文まま）

- 普段できない（使う機会のない）画材で盛り上がったのが良かったです
- みんなの作品を見られて良かったです
- 皆さんの作品に対する思いが伝わってきてとても良かったです
- マーブリングは初めてだったしやりたかったことだったので体験出来てとてもうれしかったです。はじき絵も新しい手法だったので描いていて楽しかったです
- 初めての経験で勉強になりました
- 立体があまりしたことなかったけどすごく楽しくできた

●講座の回数や時間について

回数	多い	少ない	ちょうどいい	無回答	時間	長い	短い	ちょうどいい	無回答
	0	6	26	1		2	1	24	6

自由記載 ※原文まま

- 学生さんと一緒に教えていただきながら学べるのでとても良かったです
- 今日是最初あつという間の1時間だった
- いっぱいおはなしできました

●講師について

自由記載 ※原文まま

- きんちょうしました
- タイミングよく声掛けしてくれてありがたかったです
- ていねいに楽しい時間をありがとうございます
- わかりやすく水彩絵の具の使い方をおしえていただきありがとうございます。
- とてもわかりやすくていねいにおしえていただいた
- やさしくていろいろお話しできて次回も楽しみにしています

受講生アンケート

●講座の内容について

自由記載 ※原文まま

- 創作もっとしたいです
- だんだんひきこまれる話で良かったです
- たのしかったです
- またきたいです
- アルミホイルの立体がたのしかったので、ねんどもしたい
- 新しい発想があり今後に繋がる
- 楽しいプログラムでした
- たのしくてたくさんかけて良かったです

●芸術文化を学ぶことについて関心が高まりましたか

高まった				変わらない	無回答
28	2	2	0	0	1

●障がいのある人が学校卒業後の学びを深めるためにはどんなことが大切だと思いますか。

自由記載 ※原文まま

- 今回のような教えてもらえる機会がたくさんあると良いと思います アートアカデミーがあってもいいです
- たいせつなえをわかってたのしかったのでべんきょうになりました。
- 学びというかわかりませんが、このように描く作る場を多く設けることそして出す場があれば自身も意識が高まるかと思います。
- 感心事等もっと情報（社会）をみる機会があつてそこで深めたい気持ちをそだてていければいいなと思いました
- 一人一人の知識や創作意欲を高めて自分の作りたいものを作れたらよいと感じました
- なんでもチャレンジしていくことです
- たくさん体験する
- このような会をけいぞくして行っていただきたいです せんでんしますねー

●全体的な感想について

自由記載 ※原文まま

- 自由に描かせていただき最初は緊張しましたが、楽しくできました
- 良い勉強になった
- 3つのことをやるけれど、全部わかりやすく簡単で楽しい時間でした ありがとうございます
- とても楽しい時間を過ごすことができました
- とても今後の意欲につながる
- うまくできた。絵がじょうずに描けた。
- 楽しかったです。今後もやりたいです。
- むずかしかった
- みんなはなしながらできました
- 大人数だったこともあり、皆さんの作品をみるのも楽しかったです。ありがとうございます
- 今回もあっという間に終わってしまってさみしいです また来年もよろしくお願いします

展覧会来場者アンケート

●年齢

10代	20代	30代	40代	50代	60代	無回答	計
1	6	3	4	11	21	0	46

●職業

会社員・役員	公務員	自営業	芸術系	福祉系	学生	その他	無回答
10	6	1	3	3	6	15	2

●どこから来たか

市内	道内	道外
36	10	0

●これまでに障がいのある人が創作した作品をみたことがあるか。

ない	ある
37	9

自由記載 ※原文まま

・森の岩ギャラリー ・アールブリュットギャラリー ・松島正幸記念館 ・まなみーる ・岩見沢教育大
・福祉施設 ・札幌市ギャラリー ・札幌駅 ・栗沢 ・札幌市民ギャラリー ・障がい者アート展
・美唄養護学校 ・TV (NHK) など

●本展覧会の感想

とてもよかった	よかった	あまりよくなかった	よくなかった	無回答
22	17	0	0	7

●ご意見・ご感想

自由記載 ※原文まま

- 森の岩ギャラリーでの展示の中でも作品数が多くよかった。
- とても良い展覧会なので、今後も続けていってほしいです。
- 照明のあてかたがすごい上手で作品が綺麗に見えたボンドのはかげができてそれも楽しく見れる。今年も参加させていただきありがとうございます。すごく楽しかったです。マーブリングやはじき絵、ボンド新しい初めての体験ができてうれしかったですありがとうございますまたよろしくお願いします。
- 夫が絵など教大でしている者はよく見せてもらい、友と一緒に今日は来てみました。
- フライヤーに私の絵をのせて下さりとてもうれしく、今後の励みになりました。来年度もぜひまた参加したいです。そして障がい者アートの今回の作品はどの方も素晴らしくて感動しました。このような機会を与えてくださり感謝です。ありがとうございました。
- 自由で明るい作品でハッピーな気持ちになりました
- 作品点数がたくさんあって見ごたえありました！おもしろかったです！
- 色遣いがとても好きです。
- 素晴らしかった
- 作品が多くボリュームがすごかった。次回にも期待しています。
- 全部すばらしい作品だった。
- どれも素敵な作品でした
- 絵も音楽もなにもないところから表現して何かしら物を作ることが生きていることの証明であると思います。
- 作品を見ると人間の原点を感じることができてうれしいです。
- 大きい作品も見たい
- 教育大生の指導で毎年色んなことを学べてよかったですね。
- とても楽しさが伝わってくる作品ばかりでしあわせな気持ちに慣れました。ありがとうございました。今度体験もできるといいな。

展覧会来場者アンケート

自由記載 ※原文まま

- とても素敵な作品ばかりでいやされました。マーブリングを体験してみたいと思う。
- こういう取り組みを始めて知りました。障がい者の個性の発信としてとても良いことだと思います。引き続き行ってほしいです。強いて言えば、会場案内がほしい（外から見ると所見で判断しづらい）この取り組み紹介を早い段階でわかると見やすい（テレビを前に持って展示する）
- みなさんが一生けんめい楽しみながら作品を仕上げていくのが目に浮かびました
- 森の岩で見たのは初めてでしたが、すごくワクワクしました！良い展示！
- ホイルで作った作品、おもしろかったです。岩見沢のひぐま、上手だなと思いましたし、タイトルを見てなるほどと思うものであり、楽しかったです。
- ニプトーインタンブリリヤさん、アマリダチャウファーさんの名前があるので伺ったら技能実習生で興味があって参加されたとのこと。楽しまれていてまた受け入れていただけてうれしいです。
- たくさんかわいいのがありました
- 白いカベが絵を楽しくしています。
- 全ての作品が心から楽しんでいる純粋な気持ちが伝わってきて、思わず笑顔になる素敵な展示だと思います。
- 自由に枠にはまらず皆さん個性のある作品で、見ていてとても楽しいです。
- 全ての作品が好きです。また今度やる時がありましたらまた見に来たいと思っています。
- 同じ技法を使っている色の中に黒っぽい色を混ぜたり白っぽい色を混ぜて濁らせたりすることで多くの表現ができるように感じた。紙パレットに書いている作品でも、器などとてもきれいに書かれていて、普段紙パレットにかくというはっそうがなかったのですごいなと思った。
- 見やすくてちょうどいい感じの空間に、動きの作品があり自分も動きながら見ていったので、全体流れて楽しみました。
- 平面作品から立体作品までどの作品も見ごたえがって素敵でした！
- なつかしい気分になった 書きたいから描いた絵のように感じる
- 会場全体がエネルギーで素敵でした！
- 雑多なものを展示するのは大変なことですね
- 受講生たちの個性のかがやきを感じました。

いわみざわ アートアカデミー

資料集

●アートアカデミー受講生募集フライヤー

令和7年度

いわみざわ アート アカデミー

受講生募集

- ・障がいのある方や、そのご家族
- ・障がい者福祉に関係のある方 など

**受講料
無料
定員20名**

あなたに伝えるアートメッセージ

障がいのある方の学校卒業後の学びの場として、北海道教育大学岩見沢校の学生と一緒に芸術鑑賞、創作等について学ぶ「いわみざわアートアカデミー」を開催します。

第1回 10/8 (水) 第2回 10/15 (水) 第3回 10/29 (水)

主催：岩見沢市

創作体験・創作学習会・芸術鑑賞学習会

第1回、第2回の講座では、北海道教育大学岩見沢校の学生と一緒に、様々な画材の使用方法について学びながら、実際に画材を使って作品を作ります。

第3回の講座では、制作した作品のほか、大学の見学および実際の展覧会を鑑賞し、作品鑑賞についての理解を深めます。

今年のテーマは「うごき」。ゆっくりでも、ちがっていても、自由に、自分らしく楽しみましょう。

会場：第1回、第2回 岩見沢市生涯学習センターいわなび 2階研修室5・6(4条西1丁目3-4)

第3回 北海道教育大学岩見沢校(緑が丘2丁目34)

時間：13:30～16:30(第3回のみ、14:00～開始)

講師：北海道教育大学岩見沢校アートマネジメント美術研究室 学生

講座テーマ

第1回 10/8 (水) うごきを写しとる

第2回 10/15 (水) うごきを固める

第3回 10/29 (水) うごきを伝えあう

作品展覧会

アートアカデミーで受講生が制作した作品の展覧会を行います。

会場：北海道教育大学岩見沢校

「森の岩ギャラリー」(緑が丘2丁目34)

期間：11/27(木)～12/3(水)

10:00～16:00※最終日正午まで

申込方法

参加申込書に必要事項を記入のうえ、下記提出先へ直接提出、郵送もしくはFAXでご提出ください。

メールで申込する場合は、メール文に必要事項を記載し、下記アドレス宛にお送りください。

申込書提出先：〒068-8686 岩見沢市緑が丘1丁目1番1号

岩見沢市役所1階 福祉課(14番窓口)

Eメール：fukushi@city.iwamizawa.lg.jp FAX：0126-24-0294

申込期限：令和7年9月26日(金)

【問合せ先】岩見沢市健康福祉部福祉課障がい者福祉係 ☎0126-35-4112(直通)

令和7年度いわみざわアートアカデミー参加申込書

ふりがな		
住所	〒	
電話番号	自宅：	携帯：
FAX		
メールアドレス		
事前確認事項	参加する際に必要とするサポートがあれば✓をつけてください。 ☐ 手話通訳 ☐ 筆談 ☐ 点字 ☐ その他()	

●展覧会フライヤー

いわみざわアートアカデミー作品展覧会

OUR LIFE IS OUR ART!

2025
11.27 (木) → 12.3 (水)

森の岩ギャラリー 入場無料
(北海道教育大学岩見沢校内)
10:00 - 16:00 最終日12:00まで

「虹の花」
田中かすみ

フライヤー両面に受講生の作品を掲載

あなたに伝えるアートメッセージ

本展覧会では、岩見沢市が主催する「いわみざわアートアカデミー」の活動の成果として、受講生によって制作された作品を紹介しします。

今年度は全3回の講座を実施しました。北海道教育大学岩見沢校アートマネジメント美術研究室の学生が講師となり、受講生はさまざまな画法や作品鑑賞について学ぶと同時に、意欲的に作品制作に取り組みしました。

さまざまな画材にふれ、参加者どうしの交流を楽しみながら感性のままに彩り、完成したたくさんの作品たち。一人ひとりの思いが込められた作品を、どうぞゆっくりとお楽しみください。

展覧会に関する問合せ先
岩見沢市健康福祉部福祉課 0126-35-4112(直通)

いわみざわ
アートアカデミー
についてはこちら

森の岩ギャラリー
〒068-8642
岩見沢市緑が丘2丁目34-1
北海道教育大学岩見沢校敷地内

ギャラリー内ではミニワークショップも開催いたします

北海道教育大学
岩見沢校 校舎

正門

森の岩ギャラリー ★ 隣接

ローソン
セブンイレブン

20250912 道央（空知）

岩見沢で障害者に美術教室

来月に全3回 参加者を募集

【岩見沢】障害のある人が美術表現の技法などを学ぶ本年度の「いわみざわアートアカデミー」が10月に全3回、市生涯学習センターいわなび（4西1）などで開かれる。9月26日まで参加者を募集している。市主催で5年目。第1回は10月8日、第2回は15日に同センターで、北海道教育大岩見沢校の学生を講師にさまざまな画材の使い方を学ぶ。第3回は29日に同校で作品鑑賞などを行う。講座で制作した作品は11月下旬から同校で展示する。障害者やその家族、障害者福祉の関係者などが対象。受講無料で定員20人。希望者は市ホームページで入手できる申込書に記入し、市福祉課に持参するか郵送やファクスで送る。問い合わせは同課、電話0126・35・4112へ。

（横田望）

©北海道新聞社

20251201 道央（道央ワイド）



障害者アート 弾ける個性

【岩見沢】障害のある人が美術表現の技法などを学ぶ市主催の講座「いわみざわアートアカデミー」の受講生らによる作品鑑賞会が、北海道教育大岩見沢校（緑が丘）の森のギャラリーで開かれている。

アートアカデミーは今年で5年目。10月に全3回の講座を開き、同校美術文化専攻の学生5人が講師を務めた。障害のある参加者19人が「動き」をテーマに、さまざまな画材や技法を用いて作品づくりに取り組んだ。

会場には、水面に絵の具を垂らし、マスキングテープやアルミホイルを使った個性豊かな作品が並ぶ。鑑賞会

岩教大生指導 3日まで展覧会

「フリンジ」や、クレヨン画の上に水彩絵の具を重ねる「はじき絵」、アルミホイルを固めた立体アートなど、多彩な作品が並ぶ。岩見沢高等養護学校で行われた出前講座の成果なども含め、計214点を展示している。同校3年の森みくさん（20）は「同じ技法でも、それぞれ個性の違う作品に仕上がっている。点数も多く見応えがあるので、じっくり見てほしい」と話す。3日まで、午前10時～午後4時（最終日は正午まで）。期間中は学生が常駐し、アルミホイルを使った作品づくりを体験できる。問い合わせは市福祉課、電話0126・35・4112へ。

（横田望）

©北海道新聞社

岩教大生と芸術学ぼう
障がいのある創作や鑑賞体験して
る市民対象

【岩見沢】市は、障がいのある人、アートマネジメント美術研究室の学生が道教育大岩見沢校の学生と一緒に、芸術の鑑賞や創作について学ぶ場「いわみざわアートアカデミー」の参加者を募集している。同校と連携して2021年度から実施している取り組み。本年度は「いきいき」をテーマに、絵画などの平面作品や立体作品の制作に挑戦し、芸術鑑賞の学習会も予定。制作した作品は、同校敷地内「森のギャラリー」に作品展示する。講座では同校り。

▽8日「いきいきを学ぼう」(午前10時～午後4時、生涯学習センターいわなび)
▽15日「いきいきを学ぼう」(同)
▽29日「いきいきを学ぼう」(午前10時～午後4時、道教育大岩見沢校)
▽作品展覧会(11月27日～12月3日、午前10時～午後4時、最終日は正午まで、道教育大岩見沢校の森のギャラリー)

2025年(令和7年)10月15日(水曜日)

障がい者がアート作り
市と岩教大が
アカデミーうごきテーマに創作

【岩見沢】市は8日、障がいのある人、道教育大岩見沢校の学生と、アートマネジメント美術研究室の学生が企画、講師を務める「いわみざわアートアカデミー」の参加者を募集している。同校と連携して2021年度から実施している取り組み。本年度は「いきいき」をテーマに、絵画などの平面作品や立体作品の制作に挑戦し、芸術鑑賞の学習会も予定。制作した作品は、同校敷地内「森のギャラリー」に作品展示する。講座では同校り。

▽8日「いきいきを学ぼう」(午前10時～午後4時、生涯学習センターいわなび)
▽15日「いきいきを学ぼう」(同)
▽29日「いきいきを学ぼう」(午前10時～午後4時、道教育大岩見沢校)
▽作品展覧会(11月27日～12月3日、午前10時～午後4時、最終日は正午まで、道教育大岩見沢校の森のギャラリー)